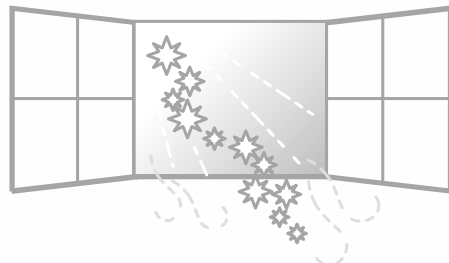


「伝え合う 分かり合う」ために

人権の窓を開けて、優しい陽の光と、さわやかな風を感じてください



「な」
んで僕より先に読んでる
んや。ずるい！」

自分が図書室で予約していた
同じ本をB君が教室で読んでい
るのを見て、A君は思わず怒っ
てしまいました。何のことかわ
からないB君はぼかんとしてい
ます。後でよく聞いてみると、
B君が読んでいたのは図書室の
本ではなく教室にあった本でし
た。学校では、時として、このよ
うに「思い込み」から相手を攻
撃したり憎み合ったりすること
が起こります。この場合、「それ、
僕が図書室で予約してた本と同
じやな。B君も予約してたの？」
という一言があったらどうなっ
ていたでしょう。誤解も生じず、
同じ本に興味を持った者同士の
つながりも生まれたのかもしれ
ません。

園部小学校の人権教育では、
「伝え合う」「分かり合う」
ことを大切にし、そのための第
一步として、「コミュニケーション
能力」を育てることを重視して
います。毎朝のスピーチや授業
での意見交流をはじめ、人権月
間では保護者の方々と一緒にす
ごろくゲームの形でお互いを知
り合ったり、聴覚障がいのある方

から思いを聞いたりするなど、
さまざまな取り組みをする中で
言葉と気持ちを伝え合う場
面を設定しています。

学校でも家庭でも、私たち大
人は、子どもたちに対して、す
ぐに、「早く○○しなさい」と言
ってしまいます。「どうしたの？」
「○○はどうだった？」「それ
で？」と子どもの言葉を待つゆ
とりがほしいものです。子ども
たちは自分の思いを聞いてもら
えることで、自分が大切にされ
ているという実感を持ちます。
それは、他人を大切にできるこ
とももつながっていきます。忙し
い毎日の生活ですが、少しの時
間と、相手を持つ「心のゆとり」
を大切にしたいと思います。



園部小学校人権教育主任
清水 恵



ねんど工作
川崎 俊祐さん (2年)



廣瀬 歩美さん (4年)
習字



水彩画
波部 巧さん (6年)



ねんど工作
廣瀬 拓弥さん (1年)



松本 優汰さん (5年)
習字



水彩画
田村 優佳さん (3年)

なんたんミュージアム
— 南丹市立吉富小学校 —
3